

ディンケルスプュール (ホテルからバスで45分)

ロマンティック街道を走り、中世の街並みがそっくり残っているディンケルスプュール。旧市街の建築物はどれも15~16世紀ごろのもので、中でもドイチェスハウスと呼ばれる建物が有名である。ローデンブルグ同様、三角屋根とカラフルな建物は青い空に映えてうっとりするくらいだ。



ヴィース教会 (世界遺産) 1746年~1754年建設

キリストの木像が涙を流した「涙の奇跡」で有名な教会。巡礼者が増えたため、最初に造られた小さな礼拝堂をロココ様式で装飾された主祭壇のある教会にした。教会の中に入ると、息をのむような装飾に圧倒される。



ノイシュヴァンシュタイン城 (1869~1886年4代目国王ルートヴィッヒ建設)

ディズニーランドのシンデレラ城のモデルとなった、白亜のお城。城まではバスで山を上る。4階には「玉座の間」があり、床は動物や植物をモチーフにしたタイルが敷き詰められている。玉座は完成前に国王が亡くなったため、空いたままになっている。5階の「歌人の広間」は直線の100m走ができるくらいの広さで天井からは大きなシャンデリアが下がっている。ただここは国王の生前には一度も使われることがなかったようだ。国王の謎の死によって城は未完成に終わったが、生前に完成していた居住部分で172日間だけ滞在したそうだ。城の内部の写真撮影は禁止となっているため、絵はがきより紹介したい。



☆マリエン橋からのベストショット ☆城から見たマリエン橋 ☆玉座の間 ☆歌人の広間

夕方にフュッセン着。オーストリアの国境に近い街で山々が近くに見える。夕食まで街を散策。ホテル近くのスーパーでは美味しそうな食材が並んでいた。

夕食 ドイツ風ラビオリ

(フュッセン泊)